

雨のモチーフと共通点の関係 ～「雨」から考える～

音楽班：小西そら、藤原ひより、本津文花、宮田心桜

Abstract

The purpose of this study is revealing that the similarities of the songs which have the same motif are associated with this motif. This survey shows 2 opposite results: one was that the similarities of them were associated with the motif of the original songs, and the other was that they were associated with another motif. Thus, this study concludes that the similarities of the songs which have the same motif are associated with the motif of original songs, but if some of the original songs have some motifs, the similarities of the songs which have the same motif are not always associated with the motif of original songs.

要約

本研究の目的は、同一のモチーフを持つ曲にある共通点が、元の曲のモチーフを連想させるということをはっきりとすることである。アンケート調査を行ったところ、共通点が元の曲のモチーフを連想させるという結果と、他のモチーフを連想させるという二つの結果が得られた。したがって本研究では、同一のモチーフを持つ曲にある共通点は、元の曲のモチーフを連想させることができるが、一つの曲が複数のモチーフを持つ場合は、必ずしも元の曲のモチーフを連想させるわけではないということが結論付けられた。

1. はじめに

雨をモチーフにした曲には似ている部分があることに気づき、共通点が曲のモチーフを連想させるのではないかと考えた。この仮説が証明できれば、共通点を見つけることで好きなモチーフの曲を作れることを可能にする。雨がモチーフであるピアノクラシック曲の4曲の共通点について着目し調査を行った。

2. 研究手法

雨をモチーフとした調査曲（雨だれ、雨の庭、雨の日のふんすい、大雷雨）を用意し、共通点を見つけた。そして、共通点を用いて曲を作成しアンケートを取った。

雨だれと雨の日のふんすいをもとに作った曲を曲A、雨の庭と大雷雨をもとに作った曲を曲Bとする。

グランドピアノ

メロディとベースラインの対比が特徴的な楽曲。雨のイメージを表現するために、流れるようなメロディと、重厚なベースラインが用いられている。



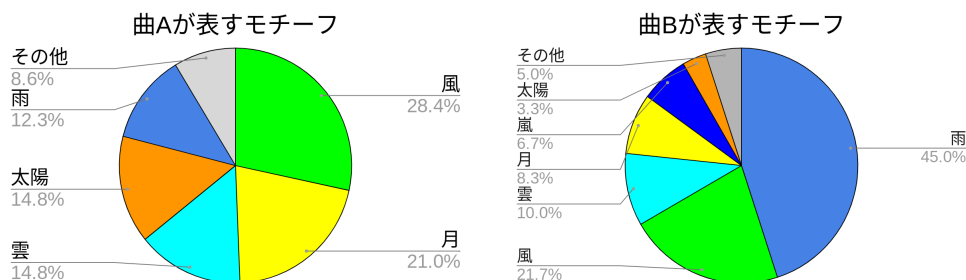
《実験》

- ① 共通点が多いたる2つのグループ(雨だれと雨の日のふんすい、雨の庭と大雷雨)に分けた。
- ② 各グループの共通点を用いた曲をそれぞれ作成し、曲A、曲Bとした。
- ③ 作成した2曲について雨というモチーフを表せているのかをアンケート調査によって調べた。

3. 結果

《実験》

曲Aについてのアンケート結果は、風(21.4%)が最も多く、次いで月(21.4%)、太陽(16.1%)・雲(16.1%)となった。曲Bについてのアンケート結果は、雨(45%)、風(21.7%)、雲(10.0%)となった。



4. 考察

曲Bの結果より、雨を連想した人の割合が最も多く見られ、曲Bに用いた共通点は雨を連想させると考えられる。曲Aの結果では、風、太陽、月、雲、雨の5つの回答間では大きな偏りは見られなかった。このことから、曲Aに用いた共通点は雨だけを連想させるわけではないことがわかった。これは、この共通点が雨以外のモチーフを持つ曲の共通点となっているからだと考えられる。

5. 結論

同一のものをモチーフとする複数の曲から抽出した共通点は、そのモチーフを連想させることがある。しかし、一つの曲にモチーフが複数ある場合もあるため、必ずしも元の曲と同じモチーフを連想させるとは限らない。今後はこの原因を詳しく追求することを課題とする。

6. 参考楽譜及び音源

ショパン(1839)「雨だれ」、ドビュッシー(1903)「雨の庭」、
ギロック(不明)「雨の日の噴水」、ブルグミュラー(1858)「大雷雨」